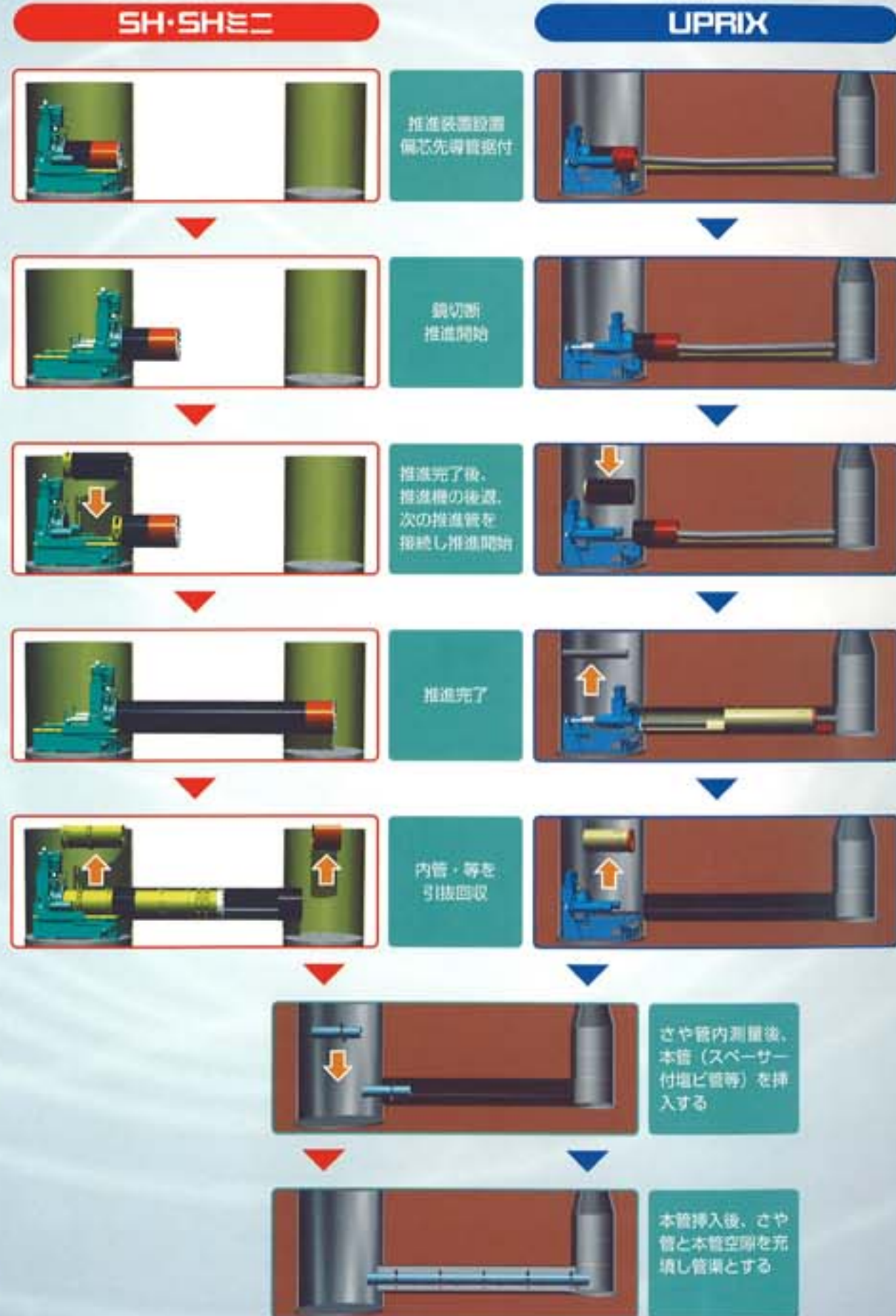


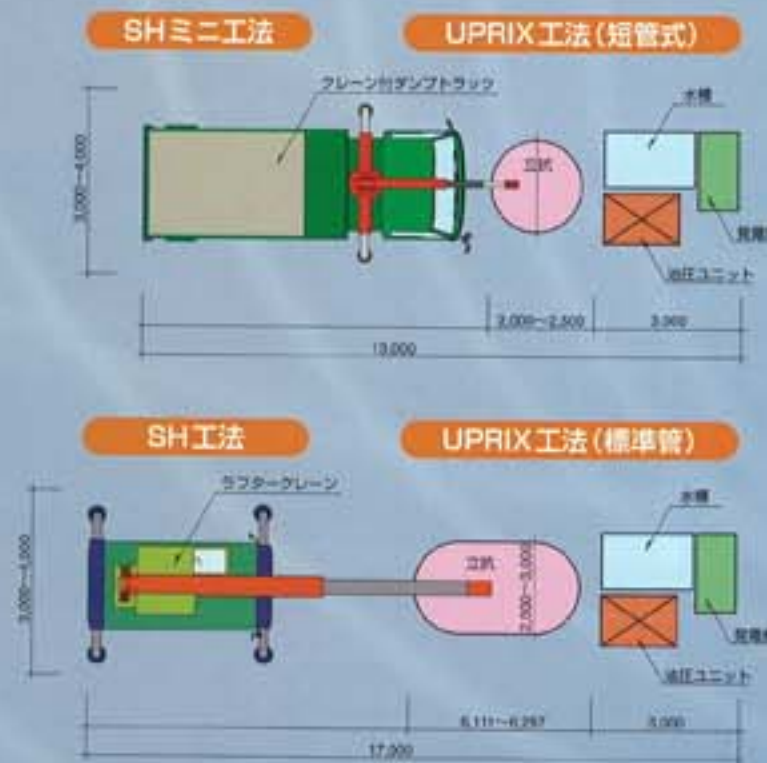
作業フロー図



適用範囲

工法	推進管呼び径 (mm)	使用する推進管 1本当たりの長さ (m)	適用推進機	発電立坑	
				種類	形状寸法 (mm)
SHミニ工法	400~600	1.0	SH-46型	小型立坑	2000
	800~1000		SH-610型	ライナープレート	2500
SH工法	400~600	3.0	SHM600型	鋼矢板	2400×6400
	700~1000		SHM800型	ライナープレート	2500×6111
UPRIX工法	600	1.0	SH-46型	小型立坑	2000
	800	1.0	SH-610型	小型立坑	2500
	600	3.0	SHM600型	鋼矢板	2400×6400
	800	3.0	SHM800型	ライナープレート	2500×6111

作業帯標準図



電力設備一覧

(SH・SHミニ・UPRIX工法)

適用推進機	発電機容量	適用推進機	発電機容量
SH-46型	75kVA	SHM600型	100kVA
SH-610型	125kVA	SHM800型	125kVA

SH工法 SHミニ工法 UPRIX工法

NETIS登録番号: KT-980125-A



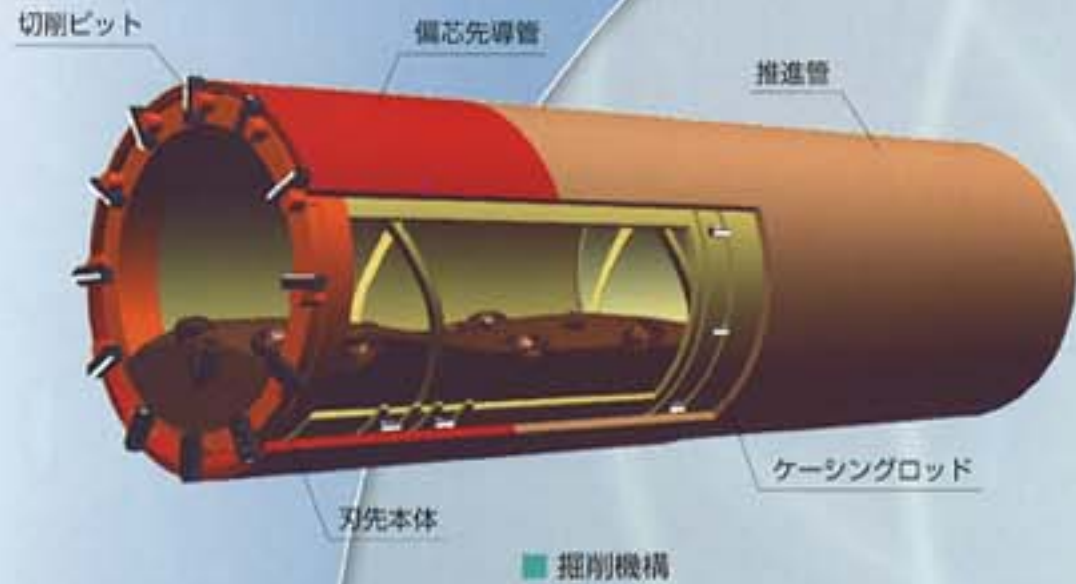
NETISとは...

国土交通省は、新技術の活用のため、新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として、新技術情報提供システム (New Technology Information System: NETIS) を整備しました。NETISは、国土交通省のイントラネット及びインターネットで運用されるデータベースシステムです。

SHスーパー工法協会

東京都墨田区堤通 1-19-9 (大林道路株式会社内)
Tel 03-3618-6543 Fax 03-3618-6543

SH工法・SHミニ工法



SH工法・SHミニ工法の概要・特徴

SH工法 (Seya's Horizontal Method) 及びSHミニ工法は水平ボーリング方式 (二重ケーシング式) で鋼管を推進し、貫通後、管内に調整スペーサーを取付けた本管を布設し、空隙を充てんして目的に合った種々の管路を築造する工法です。
特徴として以下が挙げられます。

- ▶ 軟弱地盤から粗石・巨石混じり土、岩盤迄、推進対象土質の適応範囲が広い。
- ▶ 既設マンホール、既設シールドトンネル等へ直接到達させることができる。
- ▶ 発進立坑では、通常支圧壁を必要としない。
- ▶ 調整スペーサーの使用により、布設本管の仕上がり精度がよい。
- ▶ 本管は、二重管構造 (さや管方式) により漏水が無い
- ▶ 地中障害物 (松・PC等の杭および鋼矢板の存置された山留材) が切断できる。



■ 排土状況 (ケーシングロッド内)



■ 帯水層における取込制御装置を用いた掘削状況



■ コンクリート杭切断状況



■ 到達後内管引抜状況 (切削ビット交換時・障害物回収時における内管引抜状況)

各種切断



鋼製矢板切断



コンクリート 鋼製ケーシング



既設マンホール切断



橋脚基礎切断



松杭切断



鋼管杭切断

UPRIX工法

(改築推進工法・引抜方式)

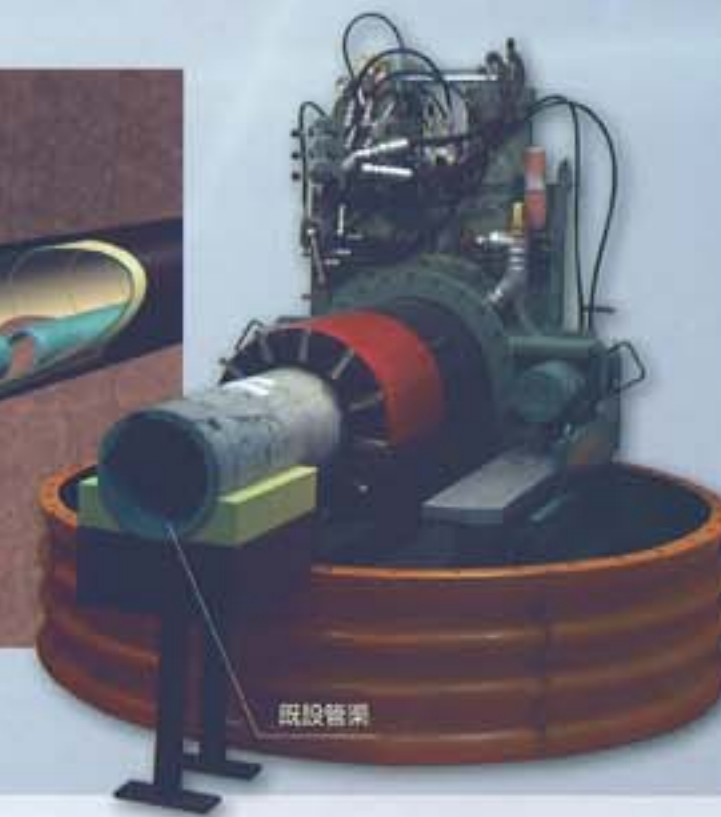
UPRIX工法の概要・特徴

UPRIX工法は既設管にその外径より大きいケーシングを回転させて押し込んで既設管を破砕、あるいはそのまま内部に取り込んで回収した後、貫通後、管内に調整スペーサーを取付けた新設管を布設し、空隙を充てんして管路を新設する推進工法です。
特徴として以下が挙げられます。

- ▶ 既設マンホールに到達が出来るため、到達立坑はいらない。
- ▶ 新設管 (塩ビ管) は既設管と流下能力は同等以上である。
- ▶ 鋼製さや管と新設管の複合構造となるため、耐震性に優れている。



■ 改築推進状況



既設管渠

施工例



既設マンホール到達



既設管・掘削土排土